

野外調査記録作成支援ソフトウェア『聞き書きマップ』の改良版の開発

原田 豊¹, 齊藤 知範¹, 山根 由子¹, 細田 耕一², 雨宮 護³

¹科学警察研究所, ²(株)エクシード, ³東京大学 空間情報科学研究センター

連絡先: <harada@nrips.go.jp>

- (1) **動機:** 野外調査(フィールドワーク)によって「現地
の状況」を記録する活動は, 実世界を対象とする研
究や実践にとって, 不可欠とも言える基本的な要
素の一つである. われわれは, 野外調査で得られ
る情報を簡便に地理空間データとして記録するた
めに, GPS ロガー・デジタルカメラ・IC レコーダーを
組み合わせ, 現地で流し録りした音声を写真の撮
影時刻で頭出しすることで効率的にテキスト情報化
する方法を考案し(原田ほか, 2009), これを無償の
簡易 GIS ソフトウェア ArcGIS Explorer のアドインと
して実装した『聞き書きマップ』を開発した(原田ほ
か, 2011). 本研究では, 従来, 『聞き書きマップ』を
エンドユーザが使う上で最大の問題であった, GPS
ロガーからのデータの読み出しを, 汎用性を維持し
ながら大幅に簡便化した改良版を開発し, それに
よる改善効果を検討する.
- (2) **方法:** フリーソフトウェアとして公開されている
“GPSBabel” (Lipe et al. 2012) を活用し, 『聞き書
きマップ』上でユーザが「GPS データの取り込み」ボ
タンをクリックすることで, バックグラウンドで
GPSBabel を起動し, 一連のコマンドをバッチファ
イルの形で与えて, GPS ログの読み出しから GPX フ
ォーマットへの変換までを自動実行させるようにし
た. これにより作成した GPX データを用いて写真の
ジオタグを行う機能を『聞き書きマップ』に追加実装
した(図1).
- (3) **結果:** 今回の改良により, ユーザからは, GPS の経
路データの取り込みが「ボタン一発」で完了するよう
に見える. また, 一連のコマンドを列挙したバッチフ

ァイルは, ユーザが自分の GPS ロガーの機種など
に合わせて書き換えることも可能である. これにより,
一般ユーザにとっての簡便性と, 多様なロガーに
対応できる汎用性との両立が可能になった. さらに,
今後, 準天頂衛星システム対応の安価なロガーが
開発されれば, このインフラの恩恵を, 「草の根」レ
ベルの市民活動にまで及ぼすことが可能になる.
この改良版『聞き書きマップ』は, われわれのウェブ
サイト (<http://www.skre.jp>) で無償公開されている.
多くの方々にご活用いただければ幸いである.

(4) 参考文献:

- ・ 原田豊・齊藤知範 (2009) GPS ログとデジタル写
真の時刻情報による流し録り音声からの質的デ
ータ収集の効率化, Research Abstracts on
Spatial Information Science CSIS DAYS 2009,
p.33.
- ・ 原田豊・菊池城治・荒井崇史・雨宮護・今井修・
井上佳昭・広原隆 (2011) 流し録り音声による
野外調査記録作成支援ソフトウェアの開発, 地
理情報システム学会研究発表大会講演論文集
CD-ROM, Vol. 20.
- ・ Lipe, Robert, et al. (2012) GPSBabel v.1.4.4,
<http://www.gpsbabel.org/index.html>.

- (5) **謝辞:** 本研究は, 科学研究費助成事業(学術研
究助成基金助成金)挑戦的萌芽研究「『予防犯罪
学』の開拓をめざした子どもの被害防止ツールキ
ットの実証実験」の助成を受けて行われたものであ
る. ここに感謝の意を表する.



図 1: 改良版『聞き書きマップ』による処理の流れ